

集めて使うリサイクル
 発行 集めて使うリサイクル協会
 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-12-3
 船場グランドビル9階
 TEL .06-6271-8665
 FAX .06-6271-8666
 E-mail : info@r-kyokai.org
 URL http://www.r-kyokai.org/

特定非営利活動法人／集めて使うリサイクル協会

2023年
4月5日発行

協会報 Vol.50



集めて使うリサイクル協会など15名ほどのメンバーが交代でブースの説明員を務めました。

コロナによる中断からリアル展示会が復活した一昨年に引き続き、昨年度も印刷工業会との共同によるエコプロ2022への出展を行いました。集めて使うリサイクル協会としてはエコプロ初出展から数え、ちょうど20回目の出展となります。会場では印刷工業会、液体カートン部会各社、L1紙パックリサイクル推進研究会、酒パックリサイクル促進協議会、集めて使うリサイクル協会など15名ほどのメンバーが交代でブースの説明員を務めました。



集めて使うリサイクル協会 エコプロ2022

12月7日(水)～9日(金)
於：東京ビッグサイト

展示内容は、例年通り酒パック・L1紙パックの製品展示およびそれぞれの団体の活動を紹介します。飲料用紙パックのリサイクル工程ならびに再生品までの流れを展示、リサイクルに関する情報発信・情報収集に努めました。

ここ2年ほどの当方ブースに関心を持って訪れる来場者を見てみると、幾分変化が感じられます。

プラ新法の施行などから紙容器への変更を考えると、メーカーや商社の来訪が増え、またプラから紙への移行の中で可燃ゴミの増加を懸念する自治体関係者の姿なども見られました。

過去20年ほどのエコプロ出展で、ブースを訪れた企業や自治体とその後、酒パック・アルミ付紙パックリサイクルの取り組みがスタートしたこともいくつかあり、今回も障害者施設

エコプロを含む SDGs Week EXPO 2022
3日間の総来場者数 61,541人(主催者発表)

の事業活動に組み込またいという行政関係者や回収ボックスを設置したいという自治体関係者などとの接点が生まれるなど、具体的な成果も見られるため、今後も取り組みの一つとして活用していきたいと考えています。



集めて使うリサイクル協会 令和4年度通常総会



須田理事

令和4年6月9日(木) エルおおさか(大阪府立労働センター)に於いて、特定非営利活動法人集めて使うリサイクル協会の令和4年度通常総会を開催いたしました。

過去2年は新型コロナウイルスウィルス蔓延の影響を受け、やむなく「みなし総会」とさせて頂いてまいりましたが、今年は何とか3年ぶりに会員の出席によるリアル総会を開催することが出来ました。

今回はあいにく和田代表理事が病氣療養中で欠席となりましたため、西田事務局長が代表代行として総会の進行に当たりました。

総会議長に須田理事を選任、正会員総数38名、出席者34名(委任状含む)により令和3年度事業報告、決算報告、令和4年度事業計画及び予算等を審議し、全て異議なく承認されました。

また総会の後開催された情報交流会では、容リ法・プラ新法をテーマに、大阪ごみを考える会代表の森住明弘氏に、水俣エリアを中心とした地域の実践事例を(株)中商店代表取締役の田中利和氏にご講演いただきました。講演内容および昨年1年の活動については中面をご参照ください。



2022年4月～2023年3月 年間活動記録

活動日	ALMprj'22 酒促進協議会 他	会場 活動内容 他
4月	8日 大阪:酒促進協 役員会 「酒パックリサイクル促進協便り」Vol.29発行 20日 大阪:集めて使うリサイクル協会 理事会 26日 大阪:WaraiMirai Fes2022 視察 30日 大阪:集めて使うリサイクル協会 会計監査	於:OMMビル会議室 於:協会事務所+Online 於:万博記念公園 於:協会事務所 山田洋治商店 於:大阪産業創造館
5月	2日 大阪:集めて使うリサイクル協会 会計監査 23日 板橋区エコポリスセンター 酒パック回収依頼 27日 大阪:酒促進協 運営委員会	於:協会事務所 山田洋治商店 於:大阪産業創造館
6月	1日 <ALMprj.>第1回報告会 9日 大阪:令和4年度通常総会・情報交流会 20日 京都:工場見学 打ち合わせ 23日 <酒促進協>総会議案書・同意提案書	Online開催 於:エルおおさか 於:日本ウエスト 全会員に送付
7月	11日 内閣府ポータルサイト更新 12日 大阪:コアレックス信栄 意見交換 15日 御銘酒カートンチラシ制作 19日 エコプロ2022 出展申し込み	於協会事務所
8月	2日 <酒促進協>環境省へ講演依頼 3日 兵庫:酒促進協広報部会 打ち合わせ 18日 大阪:日誠産業 意見交換 19日 大阪:京都市環境保全推進協議会 意見交換 31日 大阪:ニッセイニュークリエーション 意見交換	於:白鶴酒造 於:協会事務所 於:協会事務所 於:協会事務所
9月	6日 東京:酒促進協 活動報告・意見交換 7日 東京:<ALMprj.>第2回報告会 8日 エコプロ2022 出展者説明会 京都:講演・工場見学 打ち合わせ	於:日本酒造組合中央会 於:印刷工業会 Online開催 於:日本ウエスト 於:大阪産業創造館
10月	5日 大阪:酒促進協 運営委員会 7日 <酒促進協>無償貯金箱制作案内 20日 大阪:酒促進協 第41回情報交流会・懇親会 21日 京都:関西地区見学会	於:ホテル日航大阪 於:アプナップ・日本ウエスト
11月	8日 エコプロ2022 パンプ発送 25日 大阪:石崎商事 意見交換 30日 エコプロ2022 展示品発送	於:協会事務所
12月	6日 東京:エコプロ2022 搬入・設営 7日 エコプロ2022 出展 15日 プロジェクト卓上カレンダー 発送 19日 長野:リサイクルロンドながの 意見交換	於:東京ビッグサイト " " " " 於:長野県セルフセンター
1月	11日 兵庫:酒促進協 広報部会打ち合わせ 12日 東京:酒促進協 活動報告・意見交換 13日 東京:大田区(おおむすび連絡会)リサイクルロンド事業説明 27日 大阪:篠田商事 意見交換 30日 酒促進協 調査部会アンケート送付 トレペ等価格改定連絡	於:白鶴酒造 於:日本酒造組合中央会 於:大田区志茂田福祉センター 於:協会事務所
2月	3日 大阪:酒促進協 運営委員会 9日 大阪:集めて使うリサイクル協会 理事会 17日 板橋区エコポリスセンター 酒パック回収依頼 22日 酒パックに関わるステークホルダー会議 27日 大阪:大和板紙 意見交換	於:大阪市中央公会堂 於:協会事務所 山田洋治商店 Online開催 於:協会事務所
3月	9日 <ALMprj.>第3回報告会 20日 酒促進協 広報部会アンケート調査集計 31日 「酒パックリサイクル促進協便り」Vol.30発行	Online開催

「集めて使うリサイクル協会」では各種会員を募集しております。
 循環型社会構築を目指す私たちの仲間になりませんか?入会金は不要。
 ●会員年会費(非課税) 団体正会員:60,000円 団体賛助会員:10,000円
 個人正会員:6,000円 個人賛助会員:1,000円
 協会では、会員企業各社の環境活動や環境保全型商品の紹介を行っています。 どんどん情報をお寄せ下さい。
 TEL.06-6271-8665 FAX.06-6271-8665
 E-mail:info@r-kyokai.org HP http://www.r-kyokai.org/

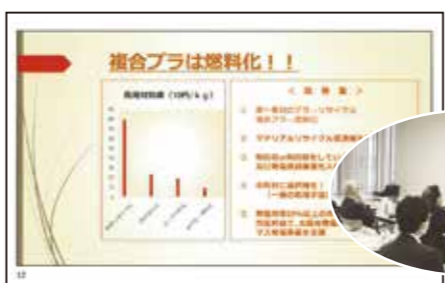
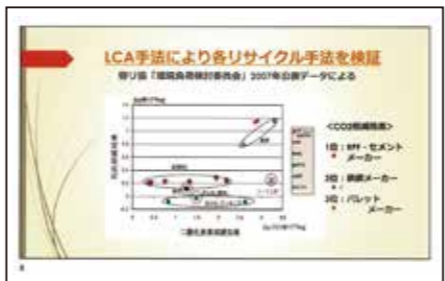
●●●「資源リサイクル」と「福祉作業所活性化事業」
 特定非営利活動法人 集めて使うリサイクル協会

プラ新法、容リ法に見る課題／問題点
〜複合プラ活用は、焼却発電が一番！〜

令和4年4月に、いわゆる「プラ新法」が施行され、かねてより懸案になっていたプラスチック製品のリサイクルが促進されることになりました。

以前から容器包装に伴うプラは、容器包装リサイクル法で定められた方法により「溶リプラ」としてリサイクルされてきていましたが、今後「製品プラ」も一括回収されるといふことで、様々な問題が懸念されています。

そもそも「容リプラ」のリサイクルそのものが多くの問題を抱えており、その要



特定非営利活動法人
大阪ゴミを考える会代表
森住 明弘氏



講師 森住 明弘氏

因のつが、材料リサイクルを応札順位の第1位に置き最大限優遇、「熱回収」は応札禁止となっていることにあると考えます。材料リサイクル製品はその大半がパレットになっています。ただパレットに適した素材は、落札プラの約半分のポリエチレン（PE）とポリプロピレン（PP）のみで他は産廃処理も可となっています。

現在の国内での廃プラ処理の実態は、「熱回収」が6割を占め、LCA手法によるリサイクル手法の検証でもCO2削減効果は、パレット等の材料リサイクルより

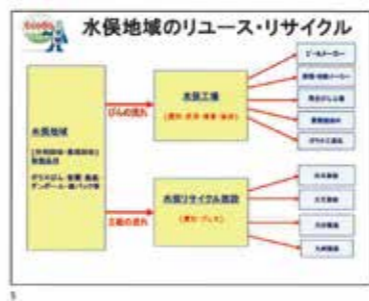
循環システムによる資源リサイクルの取り組み
〜九州、水俣エリアを中心とした地域の実践事例〜

株式会社田中商店は、昭和21年に熊本市で創業されたビン商事業を軸に誕生しましたが、平成13年に水俣エコタウンの中核事業としてびんリユース・リサイクル事業を展開する

ほか、地域の様々な循環システム構築の中心的な役割を担ってきました。そこで田中商店が取り組む、水俣エリアを中心とした九州のいくつかの実践事例をご紹介します。

水俣市は過去に水俣病という大きな環境破壊の経験と教訓を持った地域です。

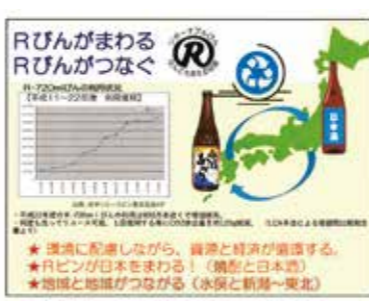
そんなことから水俣市では行政・市民が一体となって



環境モデル都市づくりに取り組んでいます。全国的にも珍しいごみの24分別にも市民の意識の高さや協力度合いが現れています。

田中商店では平成15・16年に環境省の循環型社会形成実証事業として、南九州におよ900ml 茶びんの統一リユースシステムモデル事業を展開、リユースびんについてその開発普及の中心となってきました。

そしてびんの活用としての道路舗装（リ・ガラスロード）やびんのリメイクとしてガラス工芸品なども制作しています。



株式会社田中商店
代表取締役
田中利和氏



講師 田中利和氏

また紙パックのリサイクルには平成7年から取り組み、平成23年には水俣エコタウンで古紙リサイクル事業を開始、排出からトレットペーパーの購入という消費者の循環ネットワーク形成のため尽力しています。



資源リサイクルによる福祉作業所活性化事業

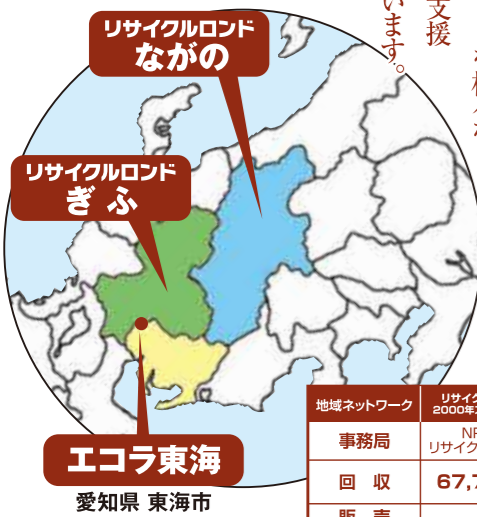
リサイクルロンド事業

古紙リサイクルを通しての福祉作業所支援プロジェクト

近年様々な大手企業の特例子会社でも、酒パックを活用した手漉き事業に取り組みところが次々誕生しており、紙パックリサイクルの新たな担い手としても注目したいと思います。

集めて使うリサイクル協会では、発足当初より古紙リサイクルを通して各地の福祉作業所と関係を持って

してきました。紙パックを活用した手漉き商品づくりに代表されるリサイクル活動や、紙パックの回収およびその再生品のトレットペーパーやティッシュペーパーの販売など、福祉作業所の仕事づくりを様々な形で支援しています。



ぎふ・ながの 2022年実績 (11月~12月)

地域ネットワーク	リサイクルロンドぎふ 2000年スタート 21団体	リサイクルロンドながの 2002年スタート 61団体	ぎふ・ながの 合計
事務局	NPO法人 リサイクルロンドぎふ	NPO法人長野県 セルブセンター協議会	
回収	67,760kg	53,340kg	121,100kg
販売 トレットペーパー	462ケース	3,127ケース	3,928ケース
販売 ティッシュペーパー	41ケース	298ケース	

リサイクルロンド
ぎふ／ながの

ここでは過去20年以上地域で紙パックの循環システムを動かしている、岐阜と長野の福祉作業所ネットワークの昨年実績、および東海地区での学乳パックリサイクル活動の実績をご報告させていただきます。

社会福祉法人さつき福祉会
エコラ東海



東海市学乳リサイクル実績 (2022年1月~12月)

取組み	エコラ東海 市内19校の学乳パック	計
回収	67,760kg	503 ケース
販売 トレットペーパー	462 ケース	
販売 ティッシュペーパー	41 ケース	

両地域での障害者施設の取り組みは、長期にわたって安定した事業として実績をあげているため、各地の行政関係者からも注目され、様々な問い合わせが寄せられています。

資源回収・再生促進のための仕組みづくり事業

酒パックリサイクル促進協議会

第41回情報交流会
「大阪会議」

令和4年10月20日ホテル日航大阪において、約2年ぶりの対面による情報交流会を開催しました。

「プラ新法」に関して環境省喜久川係長に、RPF製造に関して日本ウエスト村本部長にそれぞれご講演いただき、酒造メーカー・容器メーカーなど約30名が参加、会議後立食による懇親会を実施しました。



会議の様子



関西地区見学会



翌21日にはチャーターバスにて移動、京都市伏見区にある2つの企業の見学を行いました。まず最初に伏見地区の酒造メーカーの充填損紙回収を担うアプナップ（株）の古紙ヤード。その後昨日講演いただいた日本ウエスト（株）のRPF製造の現場を工程に沿ってご案内いただきました。見学会には18名が参加しました。

灘・伏見循環システム

灘伏見地区酒造メーカーから出る充填損紙の昨年1年間の回収実績は、次の通りです。灘伏見地区では各社工場損紙はリサイクルの仕組みに乗せて再生紙に生かされていますが、再生紙利用の面ではまだまだ十分とは言えず、各社の再生品活用をいかに拡大していくかが今後の課題となります。



2022年(1月~12月)実績

地区	メンバー	回収実績
灘地区	白鶴酒造/日本盛 大関/小西酒造 沢の鶴/辰馬本家酒造 菊正宗酒造 オエンホールディングス 関西ボトリング	43,521kg
伏見地区	月桂冠/宝酒造/黄桜 伏見清酒パック協同組合 (北川本家/齋藤酒造 豊澤本店/都鶴酒造 山本本家)	27,450kg